

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書の訂正報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第4項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2023年8月14日

【四半期会計期間】 第14期第3四半期（自 2023年1月1日 至 2023年3月31日）

【会社名】 メディアスホールディングス株式会社

【英訳名】 MEDIUS HOLDINGS Co.,Ltd.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 池谷保彦

【本店の所在の場所】 東京都千代田区有楽町一丁目2番2号

【電話番号】 03-6811-2958(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役専務執行役員 コーポレート統括本部長 芥川浩之

【最寄りの連絡場所】 東京都千代田区有楽町一丁目2番2号

【電話番号】 03-6811-2958(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役専務執行役員 コーポレート統括本部長 芥川浩之

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1 【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）における代理人取引の集計の一部に誤りが発見されました。

これに伴い、2023年5月12日に提出いたしました第14期第3四半期（自 2023年1月1日 至 2023年3月31日）四半期報告書に訂正すべき事項が生じたので、金融商品取引法第24条の4の7第4項の規定に基づき、これを訂正するため四半期報告書の訂正報告書を提出するものであります。

2 【訂正事項】

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

第2 【事業の状況】

2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 財政状態及び経営成績の状況

経営成績の状況

第4 【経理の状況】

1 【四半期連結財務諸表】

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期四半期連結累計期間】

【注記事項】

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

(収益認識関係)

3 【訂正箇所】

訂正箇所は____を付して表示しております。

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

(訂正前)

回次	第13期 第3四半期 連結累計期間	第14期 第3四半期 連結累計期間	第13期
会計期間	自 2021年7月1日 至 2022年3月31日	自 2022年7月1日 至 2023年3月31日	自 2021年7月1日 至 2022年6月30日
売上高 (千円)	169,933,560	177,528,726	221,694,333

(訂正後)

回次	第13期 第3四半期 連結累計期間	第14期 第3四半期 連結累計期間	第13期
会計期間	自 2021年7月1日 至 2022年3月31日	自 2022年7月1日 至 2023年3月31日	自 2021年7月1日 至 2022年6月30日
売上高 (千円)	173,723,185	181,388,924	226,606,414

第2 【事業の状況】

2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 財政状態及び経営成績の状況

経営成績の状況

(訂正前)

(省略)

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は177,528百万円(前年同四半期比4.5%増)、営業利益は2,386百万円(同28.1%減)、経常利益は2,777百万円(同24.4%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,796百万円(同29.4%減)となりました。

(省略)

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

(医療機器販売事業)

医療機器販売事業における消耗品につきましては、新型コロナウイルスの検査に係る試薬は需要の落ち着きに伴い販売が減少したものの、PPE(個人用防護具)の販売は引き続き好調に推移しました。手術関連製品においては、循環器領域を中心に償還価格の改定に伴う販売価格の下落が見られたものの、症例数の回復や新規施設での販売が拡大したことで増収に寄与しております。また、前期に受託したSPDに関する販売や既存顧客におけるシェア拡大もあり、売上高及び売上総利益は前年同四半期と比較して増加しました。備品につきましても、医療機関における設備投資が活発化してきており、放射線機器等の大型備品の販売により好調に推移しました。一方、事業規模拡大に伴うコスト増加や(株)栗原医療器械店における新物流センターに係る減価償却費等の発生により、セグメント利益は減益となりました。

この結果、売上高は173,381百万円(前年同四半期比4.5%増)、売上総利益は20,836百万円(同6.0%増)、セグメント利益(営業利益)は、7,548百万円(同4.8%減)となりました。

(訂正後)

(省略)

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は181,388百万円(前年同四半期比4.4%増)、営業利益は2,386百万円(同28.1%減)、経常利益は2,777百万円(同24.4%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,796百万円(同29.4%減)となりました。

(省略)

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

(医療機器販売事業)

医療機器販売事業における消耗品につきましては、新型コロナウイルスの検査に係る試薬は需要の落ち着きに伴い販売が減少したものの、PPE(個人用防護具)の販売は引き続き好調に推移しました。手術関連製品においては、循環器領域を中心に償還価格の改定に伴う販売価格の下落が見られたものの、症例数の回復や新規施設での販売が拡大したことで増収に寄与しております。また、前期に受託したSPDに関する販売や既存顧客におけるシェア拡大もあり、売上高及び売上総利益は前年同四半期と比較して増加しました。備品につきましても、医療機関における設備投資が活発化してきており、放射線機器等の大型備品の販売により好調に推移しました。一方、事業規模拡大に伴うコスト増加や㈱栗原医療器械店における新物流センターに係る減価償却費等の発生により、セグメント利益は減益となりました。

この結果、売上高は177,241百万円(前年同四半期比4.5%増)、売上総利益は20,836百万円(同6.0%増)、セグメント利益(営業利益)は、7,548百万円(同4.8%減)となりました。

第4 【経理の状況】

1 【四半期連結財務諸表】

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(訂正前)

	(単位：千円)	
	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2022年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2023年3月31日)
売上高	169,933,560	177,528,726
売上原価	148,696,130	155,087,048
売上総利益	21,237,429	22,441,678

(訂正後)

	(単位：千円)	
	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2022年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2023年3月31日)
売上高	173,723,185	181,388,924
売上原価	152,485,755	158,947,246
売上総利益	21,237,429	22,441,678

【注記事項】

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

(訂正前)

前第3四半期連結累計期間(自 2021年7月1日 至 2022年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	医療機器 販売事業	介護・福祉事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	165,868,583	4,064,977	169,933,560	-	169,933,560
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-
計	165,868,583	4,064,977	169,933,560	-	169,933,560
セグメント利益	7,926,484	406,445	8,332,930	5,012,623	3,320,307

当第3四半期連結累計期間(自 2022年7月1日 至 2023年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	医療機器 販売事業	介護・福祉事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	173,381,106	4,147,620	177,528,726	-	177,528,726
セグメント間の内部 売上高又は振替高	176	-	176	176	-
計	173,381,283	4,147,620	177,528,903	176	177,528,726
セグメント利益	7,548,574	315,407	7,863,982	5,477,044	2,386,938

(訂正後)

前第3四半期連結累計期間(自 2021年7月1日 至 2022年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	医療機器 販売事業	介護・福祉事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	169,658,207	4,064,977	173,723,185	-	173,723,185
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-
計	169,658,207	4,064,977	173,723,185	-	173,723,185
セグメント利益	7,926,484	406,445	8,332,930	5,012,623	3,320,307

当第3四半期連結累計期間(自 2022年7月1日 至 2023年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	医療機器 販売事業	介護・福祉事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	177,241,304	4,147,620	181,388,924	-	181,388,924
セグメント間の内部 売上高又は振替高	176	-	176	176	-
計	177,241,480	4,147,620	181,389,101	176	181,388,924
セグメント利益	7,548,574	315,407	7,863,982	5,477,044	2,386,938

(収益認識関係)

(訂正前)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第3四半期連結累計期間(自 2021年7月1日 至 2022年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント		
	医療機器 販売事業	介護・福祉事業	計
消耗品	137,657,811	3,269,777	140,927,589
備品	25,625,000	580,914	26,205,914
その他	2,585,771	214,285	2,800,056
顧客との契約から生じる収益	165,868,583	4,064,977	169,933,560
外部顧客への売上高	165,868,583	4,064,977	169,933,560

当第3四半期連結累計期間(自 2022年7月1日 至 2023年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント		
	医療機器 販売事業	介護・福祉事業	計
消耗品	143,075,107	3,392,478	146,467,585
備品	26,544,750	513,695	27,058,446
その他	3,761,248	241,446	4,002,694
顧客との契約から生じる収益	173,381,106	4,147,620	177,528,726
外部顧客への売上高	173,381,106	4,147,620	177,528,726

(訂正後)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第3四半期連結累計期間(自 2021年7月1日 至 2022年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント		
	医療機器 販売事業	介護・福祉事業	計
消耗品	141,513,769	3,269,777	144,783,547
備品	25,602,085	580,914	26,182,999
その他	2,542,353	214,285	2,756,638
顧客との契約から生じる収益	169,658,207	4,064,977	173,723,185
外部顧客への売上高	169,658,207	4,064,977	173,723,185

当第3四半期連結累計期間(自 2022年7月1日 至 2023年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント		
	医療機器 販売事業	介護・福祉事業	計
消耗品	146,891,294	3,392,478	150,283,772
備品	26,536,196	513,695	27,049,891
その他	3,813,813	241,446	4,055,260
顧客との契約から生じる収益	177,241,304	4,147,620	181,388,924
外部顧客への売上高	177,241,304	4,147,620	181,388,924